

## プロポーザル評価基準

### 1 審査機関

提出されたプロポーザルの審査は、A I を活用した管路劣化診断業務委託に係るプロポーザル審査委員会（以下「審査委員会」という。）において行う。

### 2 最適プロポーザルの選定方法

- (1) 審査委員会は、見積価格が審査委員会の設定した見積限度額の範囲内である者のプロポーザルに対して評価を行い、最適プロポーザルを選定する。ただし、提案された見積価格が、社会通念上著しく低く本業務の遂行が困難と認められ、かつ公正な競争が阻害されると認められる場合、当該提案者のプロポーザルは無効とする。
- (2) 審査委員会は、「内容点」と「価格点」を合算して「評価値」を算出し、原則として評価値が最も高いプロポーザルを最適プロポーザルとして選定する。
- (3) 審査委員会は、提案者が1者の場合であっても審査を行うものとし、その場合においては、当該提案者の評価値が満点の4割5分以上である場合に、最適プロポーザルとして選定する。

### 3 評価方法

#### (1) 評価値の算出方法

- ・内容点と価格点の合算とする。
- ・内容点と価格点の比率は、900点对100点（1,000点満点）とする。

#### (2) 内容点の算出方法

- ・評価項目ごとに「A（非常に優れている）」～「E（記載なし又は実現困難である）」の評価を行い、配点に応じ算出した点数の合計値とする。
- ・なお、プロポーザルに記載のない項目は内容点を与えない。

$$\text{項目毎の内容点} = \text{配点} \times \text{係数}$$

	A	B	C	D	E
評価	非常に優れている	優れている	標準的である	劣っている	記載なし又は 実現困難である
係数	1.00	0.75	0.50	0.25	0

#### (3) 価格点の算出方法

- ・見積価格に応じ、以下により点数化する。

$$\text{価格点} = \text{配点} \times \left( 1 - \frac{\text{見積価格}}{\text{見積限度額}} \right)$$

#### 4 評価項目

##### (1) 内容点項目

項目	評価内容
受託者適正	会社概要全般、経営状況等により、受託者として適正か。
実施体制	業務を遂行するために十分な実施体制が構築されているか。
実施方針	業務の目的や役割を的確に理解し、実施方針を適切に設定しているか。
工程計画	業務の全体像、実施手順を的確に理解し、工程計画が妥当であるか。
提案内容	仕様書の各要件に対する提案内容に有効性・実現性があるか。
付加提案	付加提案についての提案内容に有効性・実現性があるか。

##### (2) 価格点項目

本業務に係る費用